

三面地域 まちづくり通信

三面地域まちづくり協議会

発行日 平成 26 年 7 月 1 日

E-mail: as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

URL (ホームページ) <http://www.city.murakami.lg.jp/>

Vol.6

ハイライト

- ・ 定期総会を開催しました！
- ・ 平成 26 年度新役員を紹介します。

定期総会を開催しました！

平成 26 年 4 月 17 日 (木) 布部集落センターにおいて、第 3 回定期総会が開催されました。当日は代議員 29 人 (うち委任状提出 10 人)、評議委員 (区長) 7 人、新旧役員 19 人の出席により行われました。提案された議案はすべて承認されました。



また、来賓として三面小学校教頭の見原先生と教務主任の菅原先生をお迎えしました。小学校と地域まちづくりのこれからの関わりについて、連携強化の確認がなされました。



総会終了後は懇親会を行い、今後のまちづくりに対する一人一人の熱い思いを語りあったり、地域の課題やそれぞれの集落の情報交換するなど、大いに盛り上がりました。まちづくりも徐々に地域に浸透してきていると感じました。



総会次第

- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 三面小学校長あいさつ
 - 4 議長および議事録署名人の選出
 - 5 議事
 - 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告および収支決算の承認について
 - 第 2 号議案 役員承認について
 - 第 3 号議案 平成 26 年度事業計画(案)および収支予算(案)の承認について
 - 6 議長退任
 - 7 閉会
- ～ 懇親会 ～

総会議案書は、村上市のホームページからダウンロードできます。

新役員あいさつ

総会において新役員が承認されましたのでご紹介します。協議会に対するご意見やご要望、また地域の話題や情報など役員までどんどんお寄せください。これから2年間よろしくお願いいたします。



□会長 菅井一志 (新屋)



「事業を主催する我々役員自身が楽しんでやっていこう!」。会長就任後の役員会において新役員にかけた言葉です。協議会設立3年目にあたり、これまでの事業を踏襲し、さらに発展させるには、我々が楽しんで活動することにより、参加していただいた地域のみなさんに感動を与えられるものと確信しています。「できることから身の丈にあった活動をコツコツと継続する」。これを“まちづくりの原点・モットー”に掲げ、各専門部会の役員は張り切っております。生まれ育ったこの三面地域が、笑顔が絶えず元気な地域と発信できるように今後とも活動してまいります。地域のみなさまにも“この地域に住んでよかった”と感動を共有できるよう各行事への積極的な参加をお願いいたします。

□副会長 本間 誠 (石住)



三面地域まちづくり協議会が発足して3年目になりますが、これまでのさまざまな行事に大勢のみなさまから参加していただき、協議会役員ともども感謝いたします。今、三面小学校では児童数の減少により運動会の開催が危

ぶまれる状況になってきていると聞き、正直驚きました。また「東京の影絵の集団を呼んで子どもたちに見せてあげたい」、「学校のグラウンドで地域全体の盆踊りをしてもらえないだろうか」、「あいさつ運動にぜひ協力してください。」といった先生の思いを聞いて、あらためて地域で支えあうという意識を高く持つことと、交流を通じてより

強いきずなを築かなければと痛感しました。子どもからお年寄りまで安心して生き生きと暮らせるまちを将来像に、協議会と地域のみなさまの声を聞きながら活動していきたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくをお願いいたします。

□副会長 小池 徹 (布部)



今年の4月、三面地域まちづくり協議会の総会において、副会長に選ばれ、身にあまる大任ではありますが、任期の2年間、他の役員の足を引っ張らないように気をつけ、がんばろうと思いますので、よろしくお願いいたします。

三面地域は、縄文時代から人が住んでいた地域で(奥三面遺跡には1万年以上前から人が住んでいた跡が見つっています。)集落ごとにいろいろな行事や習慣、伝統があります。豊かな自然に囲まれ、永い年月によって培われたこの地域の伝統を“まちづくり”に生かし、子どもたちにも伝えることができると思っておりますので、協議会活動へのご協力をお願いし、あいさつとさせていただきます。

□事務局長 貝沼一夫 (堀野)



まちづくり協議会も3年目に入り「手探り状態」などという言い訳をしている場合ではありません。2年間の実績を元に繰り返すだけではなく良いところは維持し、変えなければならぬところは変え、また新たな活動にも積極

的に取組んでいこうと思います。少子高齢化が進む中、特に三面地域の子どもの数が減っています。豊かな自然に恵まれた当地域において、いかに若者が安心して暮らせる場所にできるか、ほんのわずかな助けにでもなればと思います。会長を補佐し地域のみんなが関心を持ってくれる活動を目指します。

役員一覧	
会長	菅井一志 (新屋)
副会長	本間 誠 (石住)
副会長	小池 徹 (布部)
事務局長	貝沼一夫 (堀野)
理事	光幸 (岩崩)
理事	高橋 泉 (笠太)
理事	高橋 利行 (千縄)
理事	田村 新作 (千縄)
理事	本間 守 (中新保)
理事	本間 均 (石住)
理事	板垣安次郎 (上中島)
理事	佐藤 寿一 (布部)
理事	佐藤 正勝 (猿田)
監事	本間 繁寿 (岩崩)
監事	佐藤 信 (新屋)

このほか部会員として多くの方にご協力をいただいています。まちづくりに興味がある方、まちづくりに参加したい方大歓迎です! 連絡をお待ちしております!

三面の雄大な自然と伝統・風景を大切にしながら
活気と地域愛に満ちたまちをつくる
まちづくりの理念

平成 26 年度主な事業計画

平成 26 年度の主な事業をご報告します。健康ウォーキング兼クリーン作戦や地域交流大運動会などどんどんご参加ください。

環境部会

◇6月28日(土) 朝日連峰登山道調査・保全活動



朝日連峰



三面避難小屋

◇鷲ヶ巣山登山道案内看板設置 6月28日(土)

◇健康ウォーキング兼クリーン作戦 10月19日(日)



平成 25 年度健康ウォーキング兼クリーン作戦

◇遊歩道調査 10月予定

交流部会

◇三面地域大運動会&大交流会 9月7日(日)



平成 25 年三面地域大運動会パン食い競争

地域振興部会

◇地域資源調査 第1回 6月22日(日) 岩崩区
第2回 10月予定



平成 26 年度布部区地域資源調査

やまびこ塾

◇地域の自然環境を生かした料理や昔から伝わる料理の研究
※時期や内容は未定です。

平成 26 年事業計画より

目的	活動内容
1 地域資源の調査・活用と情報発信により、交流人口の拡大を図る。	(1) 情報発信事業 三面地域まちづくり通信を年 4 回発行し、協議会の取組状況などを紹介します。
	(2) 地域資源調査事業 地域の名所、名物、名人などを調査し、地域資源マップのデータ収集を行います。また名所には看板を設置します。
	(3) 案内看板設置事業 鷲ヶ巣山の登山ルートや時間を表示した看板を設置し、登山者の利便性の向上と多くの人に鷲ヶ巣山を知ってもらいます。
2 地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	(1) 地域住民交流事業 9月7日(日)に三面地域大運動会および大交流会を開催し、地域住民のスポーツによる交流と親睦を図ります。 地域の自然環境を生かした料理や昔から伝わる料理などを研究します。
	(1) 環境保全美化事業 朝日連峰登山道三面口から三面小屋まで調査します。また小屋の清掃を行います。 三面小学校から布部、岩沢、上中島を経由する1周約 8 kmのコースで、健康ウォーキングを兼ねたクリーン作戦を行います。 遊歩道として利用できる場所を調査し、多くの人々が利用できるような取組みを行います。
3 地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくる。	(1) 集落活動支援事業 集落活性化支援助成金事業集落等で取組んでいる活動に対し助成金を交付します。
4 集落の行事・文化への支援と地域で支える仕組みをつくる。	(1) 調査研修事業 今後のまちづくり活動のため、先進的な事例の調査研究を行います。
5 まちづくりの人材育成と組織力の向上を図る。	

わがふるさと集落自慢

このコーナーでは各集落のお宝や名人、伝統などなど集落自慢を紹介いたします。今回は布部区と猿田区です。

◇布部区 わが布部の風土をいつまでも残したい…

自然や歴史・文化、そして里山。地域に密着する伝統、たくさんの知恵と知識を残してくれた先人の人々。我々の地はその歴史や文化の中で長年この地に息づいてきました。その面影を残しているのが伝統的なお祭り神楽、豊年踊り、地藏様、そして三面川の恵みである鮭の居繰り網漁、鮎漁など自然が豊かなところです。また山菜の宝庫でもある旧朝日村でつくり上げられた独特な大海はその一例です。自給自足の生活の中で長年息づく伝統的な文化。わが布部区のみなさんはいろいろと研究熱心であり、書道、絵画、茶道、料理など多種多様な趣味をもち、自然科学でも



研究を続けています。今後も後世に残すように、人は宝であり財産であることを認識し、伝統を守り続けていきたいと思っています。

(布部 本間進二)



◇静かで自然環境豊かな猿田です！



「猿田？どこですかそれ。」住所を教えても返ってくる返事はだいたいいつもこんな感じ。三面地区の人でも若い人たちは知らない人が多いと思います。なぜなら、30数年前から学校区を三面から高南（現朝日みどり小学校区）に変更したため、話す機会がないからです。といっても子どもが少なかったこともあったと思います。猿田は5軒しかない集落ですから。

猿田集落の自慢といえば、静かで自然豊かな環境じゃないでしょうか。薦川の川沿いにあり、市道が集落で行き止まりのため、車などの往来がありません。静寂につつまれ鳥や虫の音が響きます。これから蛍が飛び回る季節になりますが、昨年からは集落では蛍が生息する環境を整備しましたので、数が増えることを期待しています。

(猿田 板垣英明)



集落豆知識

布部…上通、下通、中村、宮田、道端、野城、松の下の7つの小部落の（しま）からなる。横山家にある古文書には、野々辺と書いてあるので、野の辺からおこった名かもしれない。ぬのべと発音しないので、むかしは、ののべと土地の人は呼んでいた。村の中では7つの島をよんでいる。滝谷川の氾濫で、山辺（さんべ）の方に流れていた頃もあり、前には三面川、後には滝谷川が流れて、船で城平に逃れるため、家々には、船を漕ぐかい（櫂）を備えておく家もあった。横山家が岩崩から城平城主市川次郎に招かれて移住した時は布部村は17軒であった

猿田…布部村の枝郷であって、慶長2年の地図に記載なく、元禄郷帳には、布部村枝郷として、高15石1斗1升3合、文政元年（1818）の村高は16石5斗と僅かながら増し、天保6年には同類の16石5斗が記されている。文化2年の庄屋は板垣八郎右工門である。

(昭和55年発行 朝日村史より)



三面地域まちづくりも2期目に入りました。3部会ともメンバーの入替りもありまして、継続して活動して下さるメンバーは、今までの経験を活かして、より深く広い視野で、新しく参加して下さるメンバーは、今までとは違った考え方・視野で活動し、それらが一緒になって、今まで以上のまちづくり協議会になることと思います。そのためには今まで以上にみなさまのお力が必要となります。今後の三面地域の発展のため、みなさま方のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。